

# 健康とやすらぎと…同じ目標のもとに

## 善光寺盆法会で松元密峰師講演

毎年、恒例の善光寺盆法会ですが、今年は『悟りの鍼灸治療』で全国的に支持を受けている松元密峰師をお招きし、『東洋医学と心身の健康』をテーマに、私たちの生き方に興味深いお話をご講演いただきました。

松元密峰師は大和郡山市で東西医学を総合した真の医術道場「常祐院」を運営。「真の医術は自然の生命の法則を離れては確立できない」という信念の下に、自然医学の研究とともに人々

の生命力を蘇生させ、自然治癒力を引き出す鍼灸治療を行っています。その独自の施術法は、マッサージ・食事療法をもあわせて、鍼灸を単なる技術から治療システムに体系化させました。さらに、「常祐院」ではレーザー光線治療器などの最新の医療機器を備え、洋の東西をあわせた医学を実践するだけではなく、道場では心技の優れた東洋医術者を養成しています。

講演は六月二十八日の午前の部、二十九日の午前の部、午後の部とあわせて三回行われます。

た。今回の講演でも松元師の臨床から得た貴重な経験や修行の中の過酷な体験から学んだ人間の生命力についてお話しくださいました。横浜だけでなく全国から集まった壇信徒の皆さんも、健康、生き方という身近な問題だけに、食い入るようにお話を聞いておられました。

## 黒田老師の生き方に共感

講演前、松元師が「生命エネルギーを充満させてその場に臨む」と語られているように、そのお話は静かな中にも迫力にあふれていました。対症療法といわれる西洋医学と、対処療法といわれる東洋医学の壁を越えて、そのバイタリティーで人々に幸福を説いて行く姿勢は自信に溢れ、たゆまぬ人類平和への真理を探究しつつ、とくに「気生命エネルギー」の根源であり、それが「命振動」であることを科学的に立証。その理論に基づく医療とその真価は夙に注目されてい

ます。

方法こそ違っても、黒田老師に通ずるものを受講した皆さんは感じられたようです。松元師自身も黒田老師との出会いに「運命的なもの」を感じられていたようです。「価値ある人生を送る」。この日、松元師の言葉に、大きな希望を持った皆さんも少なくはないでしょう。

### 松元密峰師

常祐院院主。五歳で母と死別。二十三歳で交通事故により失明。視力を失いながらも、厳しい信實山・玉蔵院での真言宗千日行を成満。鍼灸治療を学び、心と技の伴った東洋医療を実践